

『子どもの成長を振り返ろう』 学習の進め方

対象 : 4～6歳児を子育て中の保護者3～20名

時間 : 50～60分程度

ねらい	子どもの成長を感じる姿・行動を振り返り、それらがどんな力に結びついているか考えることで非認知能力はいろいろあることを知る。			
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの成長した姿から、我が子に育てられている非認知能力に気づき、さらに伸ばすためには子どもの周りにある環境や大人の関わりが大切であることに気づくようにする。 ○ 非認知能力を育む方法については資料を使って説明する程度にとどめ、詳しくは研修で実施することを伝える。 			
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめ3～4人のグループに分かれておく。 ○ ワークシート ○ 資料 ○ 筆記用具 ○ 時計 ○ 名札など 			
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物	
導入 5分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク ・簡単な交流・自己紹介など。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ねらい、流れ等についての説明 ◇ 3つの約束を守るように周知する。 ◇ 参加者の緊張をほぐす 	名札 3つの約束	
展開	15分	ワーク1 ・エピソードを読む。 ・普段の子どもの様子から成長を感じることを書く。 ・グループをつくり、書いたことを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ エピソードのように普段の子どものできているところに目を向けることで、成長を感じることができるという視点をもつことをねらいとする。 ※ 後半で分類をするため、可能であれば複数書いてもらう。 ◇ 記入したことを参加者同士で共有することで、自分では気づけなかった視点や子どもの姿に気づくことができるようにする。 	ワークシート
	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料紹介 非認知能力って何だろう (資料1～2) ・非認知能力について基礎的な内容を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「非認知能力」の基礎的なことを伝えることで、次の3つの力に分ける活動がスムーズに行うことができるようにする。 	資料1～2
	15分 ～20分	ワーク2 ・子どもの成長を感じる様子から非認知能力について書く。 ・グループをつくり、書いたことを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 子どもの成長を感じる様子からどのような「非認知能力」に結びついているのかを参加者が気づくことをねらいとする。 ◇ 分かる部分から記入するように声をかける。分からない部分がある人には、共有のときに他の参加者から意見をもらうようにする。 ◇ 必ずしも1つの力ではなく、複数の力に結びつくこともあることを伝える。 ◇ 何の力か悩んでいる人には、見方を変えて他にどんな力に結びつきそうか声掛けをする。 ◇ 記入したことを参加者同士で共有することで、他の参加者からのコメントで他の力にも結びつける違った視点を得られるようにする。 	ワークシート

		<ul style="list-style-type: none"> グループで違った視点が出ない場合には、ファシリテーターからアドバイスをする。 	
5分	<p>○ 資料紹介</p> <p>非認知能力って何だろう(資料3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 非認知能力について基礎的な内容を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 「非認知能力」を伸ばしていくためには、プロセスを重視することの大切さを伝え、大人の関わりの大切さにも気づくようにする。 参加者や周りの大人のこれまでの関わりのすばらしさを承認する。 	資料3
<p>まとめ 5分 ~10分</p>	<p>○ 振り返り・まとめ</p> <p>ワーク3</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークを通じての気づきや感想を書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの中で出た印象に残ったことや思ったことをワークシートに書き込むことで活動を振り返り、自分自身の意識の変化や新たな気づきを認識し、実践意欲を高めることができるようにする。 さらに学びたい方のために、「非認知能力レンズ」研修のチラシを配り、情報提供する。 	<p>ワークシート</p> <p>研修のチラシ</p>